

## 平成28年度 ニシン漁獲物調査速報(11)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月27日に小樽市漁業協同組合に出荷された漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

### 【結果】

1. 漁獲(表1) 小樽方面ではだいぶ型が小さくなり(平均体重293g), ㊸番手主体となってきています。序盤から非常に低く推移してきた水温も2月中旬以降は底打ちとなり上昇傾向になってきましたが、漁は徐々に薄くなってきているようです。

2. メスの完熟率(表1)

測定した雌個体は大半が完熟状態でしたが、小型魚の一部にはまだ産卵までかかりそうな個体もみられました。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長28cmにモードをもつ4年魚(2013年級)が全体の半数を占め、序盤から今シーズンの漁を引っ張ってきた5年魚(2012年級)がだいぶ少なくなりました。今シーズンの3年魚はもともと資源量が多くないため、やはり漁獲量が低調になっていく傾向は否めません。一方、同日に厚田地区で実施した調査(速報10号)では、3年魚(2014年級)が目立っていましたが、小樽地区ではほとんどみられませんでした。主体となっている目合にもよりますが、3年魚、2年魚は湾西側への来遊が相対的に少ないという例年の傾向が現れてきているとも考えられます。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	①	②	③	その他	合計
漁獲重量kg(27日出荷分)	160.00	650.00	925.00	720.00	2,455.0
漁獲尾数	451	1,971	3,491		5,912
測定尾数	15	16	20		51
測定尾数(精密)	15	16	20		51
平均尾叉長(mm)	309	304	287		294.5
平均体重(g)	355	330	265		293.4
雌の比率	0.67	0.44	0.70		—
完熟率*	0.90	1.00	0.79		—

\*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

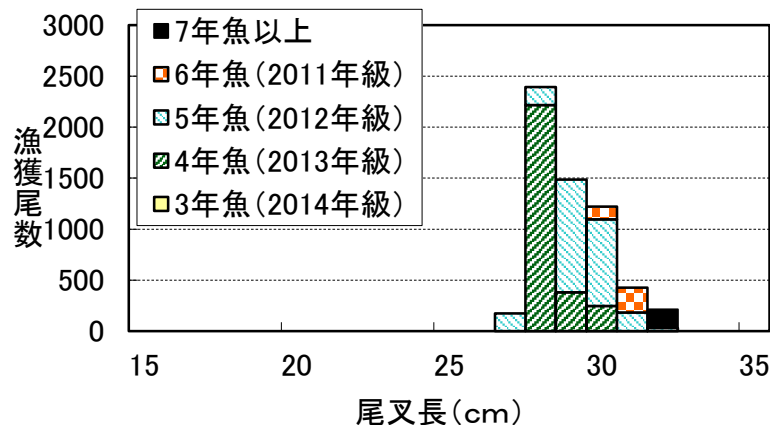


図1 2017年2月27日小樽海域 年齢別尾叉長組成